



美瑛町ことばの教室 2022・7・13 No. 4 (通算 365)

1学期ありがとうございました

来週で1学期も終了です。どんな1学期だったでしょうか？長く感じた人、あっという間に過ぎちゃったと感じる人、いろいろな思いがあることでしょう。ケガや病気に気をつけて、夏休み明けにまた元気な顔が見られることを楽しみにしています。

1学期は、保護者の皆様にとって、授業参観や担任との保護者面談等、学校に来る機会が多かったと思います。ことばの教室の面談や付き添いにも、たくさんご協力いただき大変感謝しております。ありがとうございました。2学期も引き続きよろしくお願いいたします。



____年 組 _____さん

通級時間は _____曜日 _____時間目 (_____ : _____ ~ _____ : _____) です

※色のついているところが通級日です！

8月の予定

- 17日(火) = 2学期始業式5時間授業
- 18日(水) = 2学期通級開始
- 25日(木) 26(金) = 美瑛小6年修学旅行
- 30日(火) = 研修会のため午後休室

新型コロナウイルス感染防止のため、予定が変更になる場合があります。

月		火		水		木		金	
1	夏休み	2		3		4		5	
8		9		10		11		12	
15		16		17	始業式	18	特 通級開始	19	
22		23		24		25	特	26	
29		30	午後休室	31					

※「特」の表記は美瑛小学校が特別日課の日です。

もうすぐ夏休み！どうする？ゲームやりすぎ問題

子どもたちはウキウキの夏休み！保護者の皆さんにとっては、ちょっぴり憂鬱…という方も少なくはないのではないのでしょうか…。今回は、面談の中でもよく話題になる「ゲーム」について、『子育てベスト100——「最先端の新常識×子どもに一番大事なこと」が1冊で全部丸わかり』（ダイヤモンド社 加藤紀子著）から一部抜粋して紹介したいと思います。



ゲームには「メリット」もある

時間を忘れてのめりこむ子どもが多く、もっぱら恨まれ役のゲームですが、世界ではその教育効果が研究され、さまざまなメリットも明らかになってきています。

ゲームと教育に関する研究に詳しい、東京大学大学院情報学環の藤本徹准教授は、「親がゲームを漠然と不安視するよりも、むしろ積極的に関わることで、子どもは依存に陥ることなく、ゲームがもたらすよい影響を受けることができる」といっています。親が子どもの「ゲーム」とうまくつきあうにはどうすればよいのでしょうか？

親の目の届く場所でやる

「端末は自分の部屋に持ち込まない」「端末と充電器はリビングに置き場を決める」というルールを徹底。親の目が行き届く場所で、子どもがゲームをするようにします。

あえてゲームの話をする

積極的にゲームを話題にしたり、親が子どもに教えてもらい実際に体験してみたりして、親子のコミュニケーションツールとして活用。すると子どもは親との信頼関係が強まったと実感し、自主的に時間をコントロールするなど、自律心が芽生えるようになります。

スゴい一言：「〇〇の後なら気がすむまでやっていいよ」

子どもが約束を守らず、ゲームをやめないようなときには、怒りのあまりゲーム自体を禁止してしまうことがあるが、人間には、ダメと禁止されるとかえって興味が高まり、逆の行動に走りたくなるという心理現象があり、「カリギュラ効果」と呼ばれています。

藤本准教授は「親は子どもがゲームをしている姿にばかり注意が向いてしまうが、子どもなりに忙しくがんばっている一日の中で、ひとつの息抜きの時間としてゲームを楽しんでいる。厳しく制限すると、かえってこっそりゲームをしようという行動につながりやすい。むしろ、『宿題や家の手伝いをきちんとやった後でなら、気がすむまでゲームで遊んでよい』といったルールにするほうが、自分でゲームとの付き合い方を工夫するような望ましい行動をうながすことができる」といっています。

ぜひ自分で考えて判断できる子どもたちを育てていきたいですね！（文責 石塚）